

校長室だより



令和3年12月15日

校長 齋藤 瑞穂

なぜだろうと思ったときが しらべどき

みなさんはクマにどんなイメージをもっていますか？くまのプーさんやティディベアを思い浮かべると、クマは親近感のわく動物かもしれません。しかし、野生のクマは、時には人も襲う動物です。力が強く、するどいツメやキバを持っていて、そのツメでひとかきされると、簡単なケガではすみません。夏には、山歩きをする人がおそわれたというニュースをよく聞くでしょう。

さて、そのクマですが、本格的に寒くなる今頃から「冬眠」に入ります。七十二候では、「熊蟄穴（くまあなにもこる）」という時季です。なぜクマは冬眠するのでしょうか。そして、冬眠とは、どんなことを言うのでしょうか。穴にもって眠る、ということは知っていると思いますが、どれぐらいの期間眠るのか、また、本当に眠っているのか、どんなタイミングで起きるのか。ずっと眠っていてトイレは？おなかはずかないの？・・・改めて考えてみると、私もきちんと説明できません。

このように、日常には、知っているようでよくわからないことが思ったよりたくさんあります。そして、少し前まではそれを調べてみるのは簡単ではありませんでした。でも、今はどうでしょう。みなさんに一人一台配られたタブレット端末を使えば、インターネットですぐにたくさんの資料を見つけることができます。

なぜだろう、と思ったときが調べどきです。疑問をそのままにせず、すぐに調べてみる。そうすることで、さらに新たな疑問に出会ったり興味や広がったりすれば、それをさらに調べてみる。成長期のみなさんにとって、知識を蓄えることはとても大切です。その知識も、だれかに教えられたものより自分で調べたものの方が、ずっと身に付くはずですよ。

私も早速クマの冬眠について、ネットで調べてみました。すると、へえ、すごいなあと、感心することがたくさんありました。なんとクマの冬眠のメカ

ニズムを、近い将来人間が応用するかもしれない、なんて記事もありました。あんまりすごいので、みなさんに教えたいけれど、今回は我慢します。

ぜひみなさんが自分自身で調べてみてください。そして、わかったことを、お家の方や友達、先生に知らせてくださいね。

投句箱より

寒い朝 ぼくのねぐせが はんばない

6年 杉山 翔真

今回紹介するのは6年生の作品です。

この句を読んだ時、思わずクスッと笑ってしまいました。朝、校門に立っていると、ステキな寝ぐせスタイルで登校する人がけっこういます。まったく気にしていない人もいれば、はずかしそうにはねた髪の毛をおさえながら来る人もいます。

冬の朝は少しでも暖かい布団の中に長くいたいもの。時間ぎりぎりまで布団でぬくぬくし、さあ朝の身じたくを、と鏡を見たら、すごい寝ぐせ！でも整える時間はないし…とあわてている様子が目にうかびます。そもそも寝ぐせは冬に限らずつくものですが、なかなか起きられない冬の朝だからこそそのあせりが伝わってきて、楽しい句になりました。

杉山さんはもう一句、

静電気 友達さわるの ちよっと怖い

という作品も寄せてくれました。こちら冬にだれもが体験し、「わかるわかる！」と共感できる一瞬をユーモラスに切り取っています。さすが6年生ですね。



保護者の皆様

朝晩の冷え込みがいっそう厳しくなってきました。この寒さのせいか、風邪の症状でお休みする子どもが増えてきたようです。感染症対策として、本人はもちろんですが、同居のご家族に発熱や咳がある場合も、大事をとってお家で様子を見てください。ご協力くださいますようお願いいたします。